

【一中】身を守ることにについて

本文:

『北九州で中学生が殺傷されるという痛ましい事件が報道されています。一人の大人として、そういった社会しか中学生の皆さんに提供できていないことは申し訳ないと思います。通り魔等への対策は出来ることがあまりないのですが、自分の身を守るために以下のことに気をつけて行動しましょう』と生徒に呼びかけました。

「不審な人に遭遇した場合や危険を感じた場合は、大声を出して助けを求めたり、近くの民家や商店の大人に助けを求めたりする」

「不要な外出は避け、戸締りを確実にする」

「なるべく人通りの多いところを通行する」

「危険だと感じる場所には近寄らない」

「危険が増す時間帯に出歩かない」

本校では、教職員で「ハインリッヒの法則」（1件の重大事案の背景には29件の軽微事案と300件のヒヤリハット（事案の1歩手前の出来事）がある」という経験則）をもとに、ヒヤリハット事案を共有し、29件の軽微事案、1件の重大事案が起きないようにしようと共通理解しています。（実践できていない部分もありますが…。）今回のように、校外での命に関わることについても、重大事案の影に300のヒヤリハットがあると認識し、ヒヤリハットを共有して重大事案に至らないようにできればと思っています。

年末年始も近づいてきました。ご家庭でもご指導をお願いします。

不審な人を見かけたり、危険な目にあったりした場合は、110番または唐津警察署（0955-72-2101）に通報をお願いします。